

坊ちやま…

私を縛りあげて
いったい何を…

馬鹿か
テメエは！

二十年前
このデカ乳で

んで
俺を産んだ後
知らん顔して

今まで俺を
欺いてきた罰だ

あっ

ギッ

もちろん
ナニだよナニ！

親父を誑かした
時みてえにな！

俺に仕えて
きたってわけて
ふざけやがって

しっかり受け
とめろよシエラ



息子の成長を
この腐れマンコ
でなあ

おぐっ

ボム

ぎ

へっ
どうよ

ボッ

ぎゃあああああ
ああああつ

うあ
あああつ

おいおい

ドン

まだオチ
んじゃねえぞ

息子チンポの味はよ

ベリ
メリ

シエラは
拒まない

あゝったくこの豚は

カク

それが主人や
その家族の
命であれば



あっあっあっ

どんなモノでも
受け入れた



おあああ

たとえ膣を裂きの
子宮を潰すほどの
巨根であつても

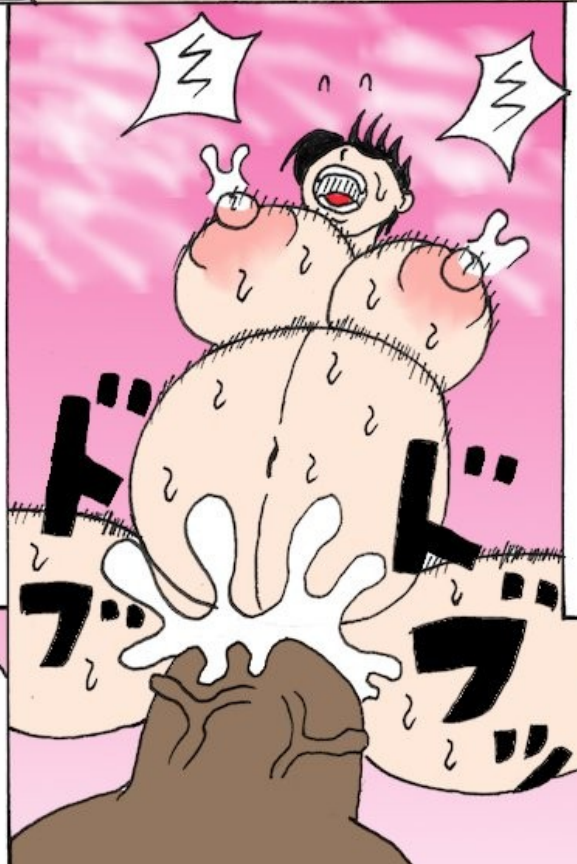


そしてそれが主人との
間にできた我が子
のモノであつても



遠慮なく
孕めよ
豚女

それが彼女の
忠誠の証であり
絶対の義務であ
つたのだ



だがその忠誠心
が時としてアダに
なることもある



相手の
名は言えないか……

そうか

主人の不在中
どこぞの男と関係を
持ちあまつさえ
孕まされたシエラは



ぎやあああああ



当然のごとく
罰を受けた

しかし罰の直接的
原因は男の名を明か
さなかったことにある



たとえ主人の命でも
その子息を売ること
はしない



あくまでメイド
としての義務を
果たそうとして
のことであつたが

結果として両乳房の
半切断という重傷を
負うことになった

しかしそれでも
なお彼女は口を
割らなかつたという



この頑なまでの行動が
本当にメイドとして
のものだったのか



それとも母性ゆえの
ものだったのかは
本人にさえわからない